

技術家庭(技術分野) 第3学年

1. 教科の目標

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関りについて理解を深める。
- (2) よりよい生活の実現に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解している。 育成するトマトの成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。	エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。 主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。

3. 評価の観点と評価方法

	一学期				二学期				三学期			
	授業観察	製作物	学習レポート	期末テスト	授業観察	製作物	学習レポート	期末テスト	授業観察	製作物	学習レポート	期末テスト
知識・技能	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎
思考・判断・表現	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○

○…取り上げる評価方法

◎…取り上げる評価方法のうち特に重視するもの

技術家庭(技術分野) 年間評価計画 (第3学年)

月	指導項目	指導内容	評価方法と評価の観点
4	ガイダンス	1. ガイダンス 1年間の学習計画・評価の説明	※授業観察 全期間に渡って適宜実施
5	情報とわたしたちの生活 ○プログラムによる計測・制御	○製作に必要な図を知ろう キャビネット図・等角図	(知識・技能、思考・判断・表現、主体的)
6	○わたしたちの生活と生物育成	1. 実際にオーロラクロックを用いプログラムを作成し役割について考える	・自己評価(思考・判断、主体的) ・栽培計画(思考・判断、主体的)
7	技術とわたしたちの生活 ○機器のしくみと保守点検 ・動力伝達のしくみを調べよう	1. トマトの栽培(ものづくりと並行して) ○卓上ボール盤を観察し、動力発生部・動力伝達部・仕事部に分けて考える ○ねじ切り(ペン立ての製作)	・観察レポート(主体的) ・作品の評価(技能、思考・判断・表現) ・期末考査(全観点)
10	○エネルギー変換とその利用 ・動きを伝えるしくみを考えよう	○回転運動を伝達する仕組みを調べてまとめる	
11		○リンク装置、カム装置を調べてまとめる	
12	・エネルギーの変換を利用した製品を作ろう	○製品の構想を整理する ○設計の手順を確認する ○機械モデルの運動のしくみを検討する	・作品の評価(技能、思考・判断・表現) ・期末考査(全観点)
1		○オルゴール人形の製作の準備をする	
2		○組み立てる ○組み立てた機械モデルの動きを確認しながら修正を加える	・作品の評価(技能、思考・判断・表現) ・学年末考査(全観点)
3	○技術ともものづくりの未来	○技術の未来について考える ○省エネとリサイクルの技術について調べる	